

笑う門には福来たる

～台風災害をのりこえて～

岩泉町立門小学校 防災・復興教育

平成30年2月9日

岩泉教育委員会

岩泉町立門小学校

下道 順 佐藤 修

岩泉町立門小学校

創立141周年
今年度国見小・中沢小と統合
全校児童49名



平成28年8月30日

観測史上初めて太平洋から上陸した、台風10号

- ・死亡者数23人
- ・孤立世帯最大 33地区 428世帯
- ・建物被害 住家984世帯
- ・被害額 328億2325万円
- ・避難者 最大 6か所 677人

門の被害の状況(地域)



1 地域の被害状況

- ・小川こども園の園庭が川岸とともに削られた。
- ・小川中学校の校庭に土砂が流入した。
- ・小川中学校手前の橋の基礎が壊れた。
- ・名目入橋近くの道路が削られた。
- ・救沢方面の道路や石畑付近で土石流発生
- ・多くの家屋・家屋の庭・道路に土砂流入
- ・多くの家屋で床上・床下浸水
- ・川の堤防が壊れた

他被害多数

門の被害の状況(学校・児童)



園庭が大きくえぐられた
小川こども園



大量の土砂が流入した
小川中学校

2 学校の被害状況

(1) 学校

- 大きな被害はなし。

(2) 児童生徒の家庭

- 10件で被害

(3) 教職員の家庭

- 2件で被害

学校は人命救助の拠点に



校庭は自衛隊のヘリポート・駐屯地

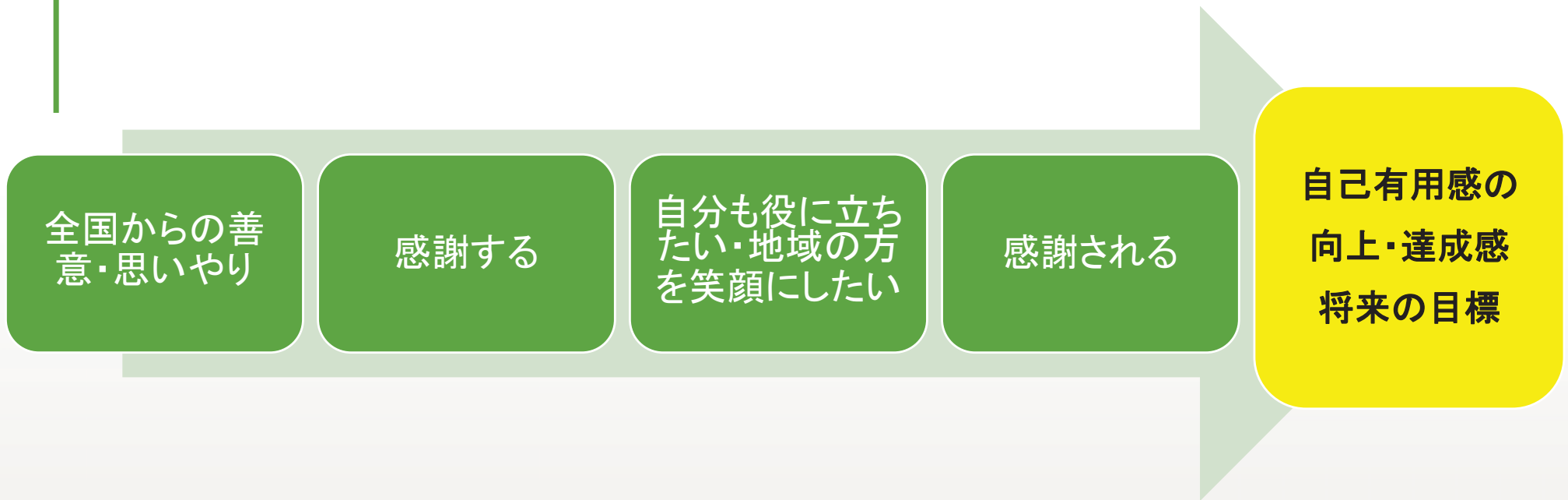


体育館は仮の消防署

全国から届いた善意・思いやり



救援物資



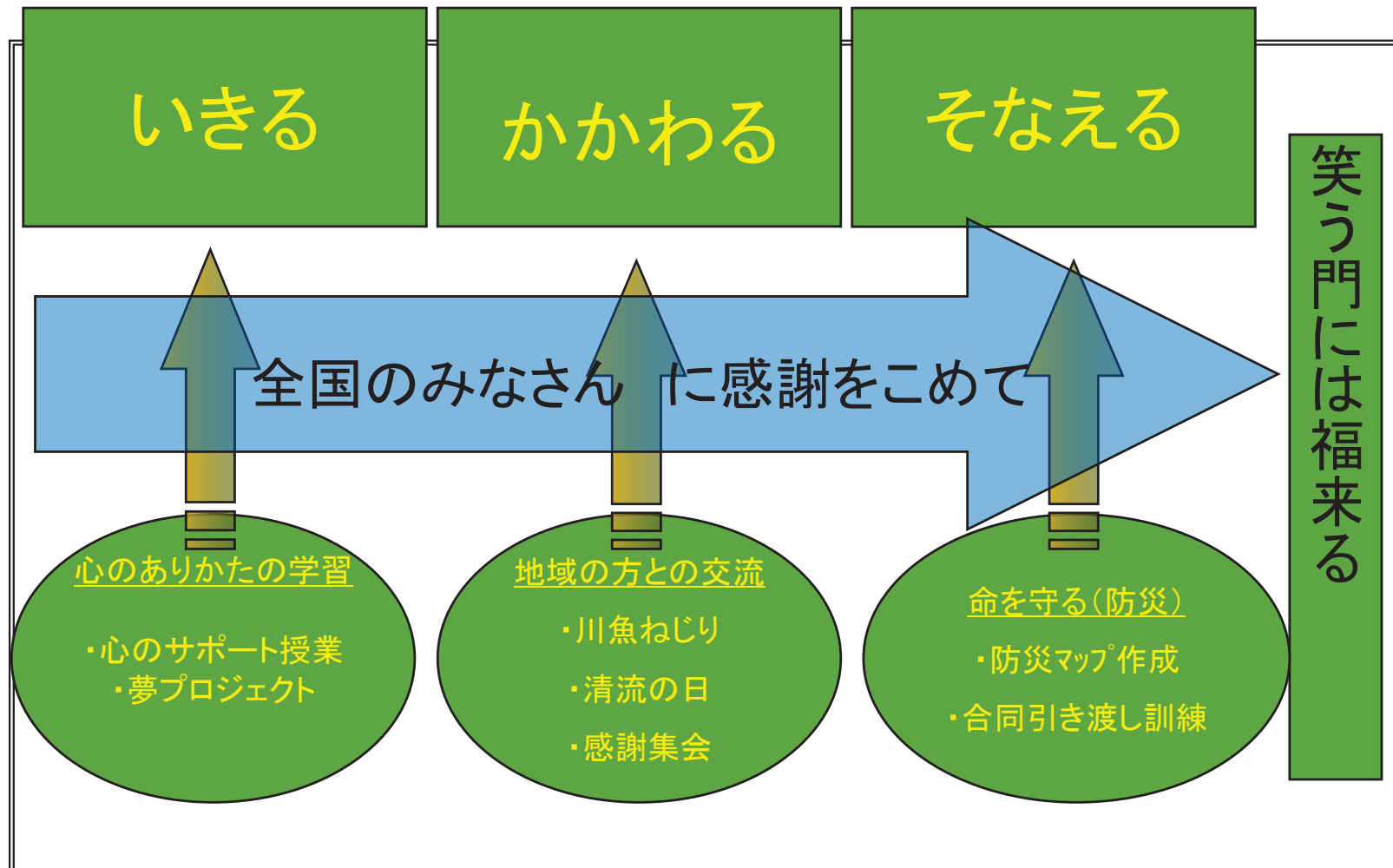
「ありがとう」「笑顔」を復興の柱に

平成29年度いわての復興教育スクール指定

目標

- 1 多様な復興教育を展開し、地域のために自主的に活動することを通して、思いやり・感謝の心情を育てる(いきる)とともに、進んで誰かのために役立つとする(かかわる)児童を育てることができる。
- 2 地域・保護者・中学校と連携した活動を仕組みながら地域にも発信し、地域・家庭の防災意識を高める(そなえる)とともに、防災体制を整えることができる。

平成29年度 門小学校の今年度の主な取り組み



笑う門には福来る

～門のみなさんに笑顔の花を咲かせよう～

全 校・児童会

- 毎月30日「清流の日」
- 全校遠足（行先～県立博物館・6年生は東日本大震災で被災した文化財の脱塩作業）
- 学習発表会（復興スクールの取組発表）
- 感謝集会（善意を届けてくれた方・お世話になっている方を招待）
- 思いやりの木（児童会）
- 歳末助け合い集会の発表（全校合唱の発表）

地域・保護者

- 川魚ねじり（学校前の川で川魚のつかみどりをする事...20年以上続いているPTAの伝統行事）
- 小川地区保小中合同引き渡し訓練（大雨により避難指示が出たことを想定し、こがわこども園・門小学校・小川小学校・小川中学校と合同で実践）

学 年

- 仮設に住む方との交流（1・2年）
- 地元食材を利用したの料理教室（3年）
- 防災マップ作成・門ならではの「食」調べ（4・5年）
- これからの岩泉の復興計画を学ぶ・学習発表会で岩泉の未来について公開ディベート（6年）

授業実践

- いきる・かかわる・そなえる活用の授業～ありがとう大作戦（3年）
- 校内研～門のみんなを笑顔にしよう（4・5年）
- 拡大授業研究会～門ならではの「食」を発信しよう（4・5年）
- 心のサポート授業（スクールカウンセラー～1～6年）

毎月30日は「清流の日」



挨拶や奉仕活動を通して心をつなぐ

復興教育の活動に進んで取り組む

副読本「いきる かかわる そなえる」を積極的に活用する

感謝の思いを届ける

縦割り班活動を通して仲間の良さを知る

ありがとうがいっぱいの学校に①

まずは職員室から ありがとう



方法～心からほめる 認める 信頼する 感謝する
(あたたかい関係づくり)

場～日々の授業で 学級経営で 復興の取り組みで 行事で
ポイント～継続すること

自己有用感を高める言葉＝ありがとう

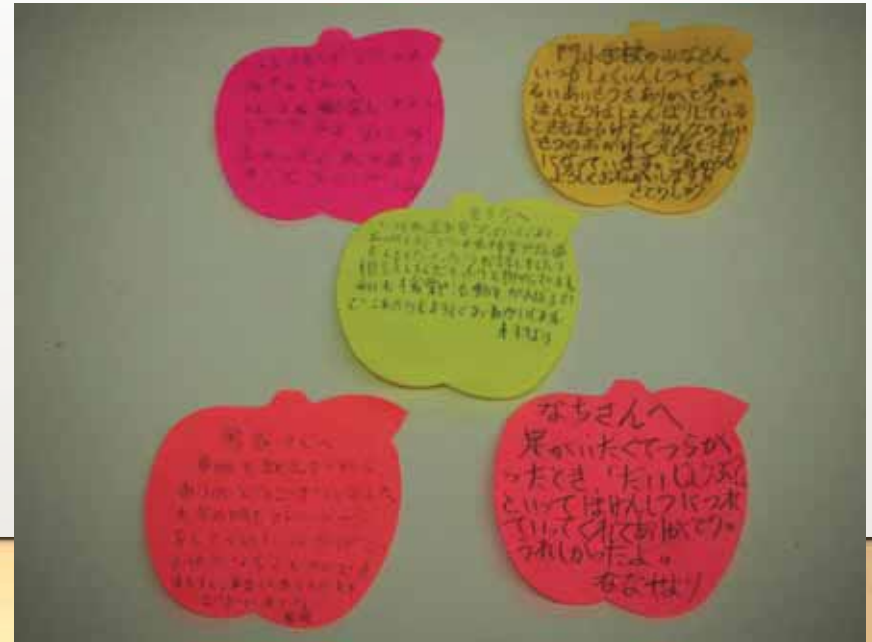
あたたかい関係づくり 先生同士→先生と子ども→子ども同士

ア まずは先生同士で。心が通じ合う 助け合う 温かい職場づくりをめざしましょう。
イ そして、先生が子どもの良さを・がんばりを見逃さず、目を見て、心をこめて、子どもに声をかけましょう。
ウ さらに、子ども同士でお互いを認め合い、助け合い、讃え合うことのできる集団をめざしましょう。

ありがとうがいっぱいの学校に②

児童会の取り組み～思いやりんごの木

- 門小学校・地域・家族の三本のりんごの木
- 誰かの思いやりへの感謝の思いを書いて貼る
- 子どもからありがとう～先生からありがとう
- 取り組み後に相手にりんごを相手に届ける



ありがとうがいっぱいの学校に③



善意を届けてくれた方・
普段お世話になっている
方を招待し、手紙・よびか
け・合唱で感謝の思いを
表現



感謝集会



学習発表会

めあて「笑う門には福来る 笑顔の花を咲かせよう」

「門のみなさんを笑顔にしよう」を合言葉に各学年劇・合唱を心をこめて表現



小川地区歳末たすけあい演芸会

小川地区歳末たすけあい演芸会

「門のみなさんを笑顔にしよう」を合言葉に笑顔で元気な歌声を発表



全国子ども森サミット(愛知・三重)



1学期 「門のみんなを笑顔にしよう」

○ ねらい

防災マップ作りを通して、災害の恐ろしさや現在の復興状況を知り、災害時に自主的に避難しようとする意識を高める。

○ 指導計画（20時間）

つかむ・見通す	<ul style="list-style-type: none">・台風の被害を振り返り、自分たちにできることはないか話し合う。・調べ活動をする方法を考える。
やってみる	<ul style="list-style-type: none">・グループに分かれて、地域を歩き記録する。・防災マップを作る。・地域の方にアドバイスをもらう。
まとめる	<ul style="list-style-type: none">・防災マップ交流会に向けて、発表の準備・練習をする。
ひろげる	<ul style="list-style-type: none">・中学生と防災交流会をし、交流し合う。
ふりかえる	<ul style="list-style-type: none">・活動を振り返り、これからの自分について考える。

授業研究会①

「門のみなさんを笑顔にしよう」(4・5年)



防災マップ作り(4・5年)



復旧が進まない学区を取材

警察・消防団員から助言をいただく

門地区防災マップ

平成29年度門小学校4・5年生

自分の命は自分で守る!



完成した防災マップ

防災マップ 中学生との交流会



小学生・中学生それぞれが作った防災マップを紹介し合い、意見交流

「門のみんなを笑顔にしよう ～防災マップを作ろう～」

成果と課題

- 地域を歩き、実際の様子を見ることで災害の恐ろしさや復興の様子を実感することができ、自分事として捉えることができた。
- 地域の方や中学生と交流することで、自分たちの活動がみんなのためになることをより実感でき、充実感や達成感を得ることができた。
- 地域の実情を知り、防災に対する意識が高まった。
- △危険個所や避難場所をどの程度マップに表すかの判断基準が難しい。
- △活動を充実させるための時間の確保。

2 学期 「門の笑顔を広げよう ～門ならではの「食」について発信しよう～」

○ねらい

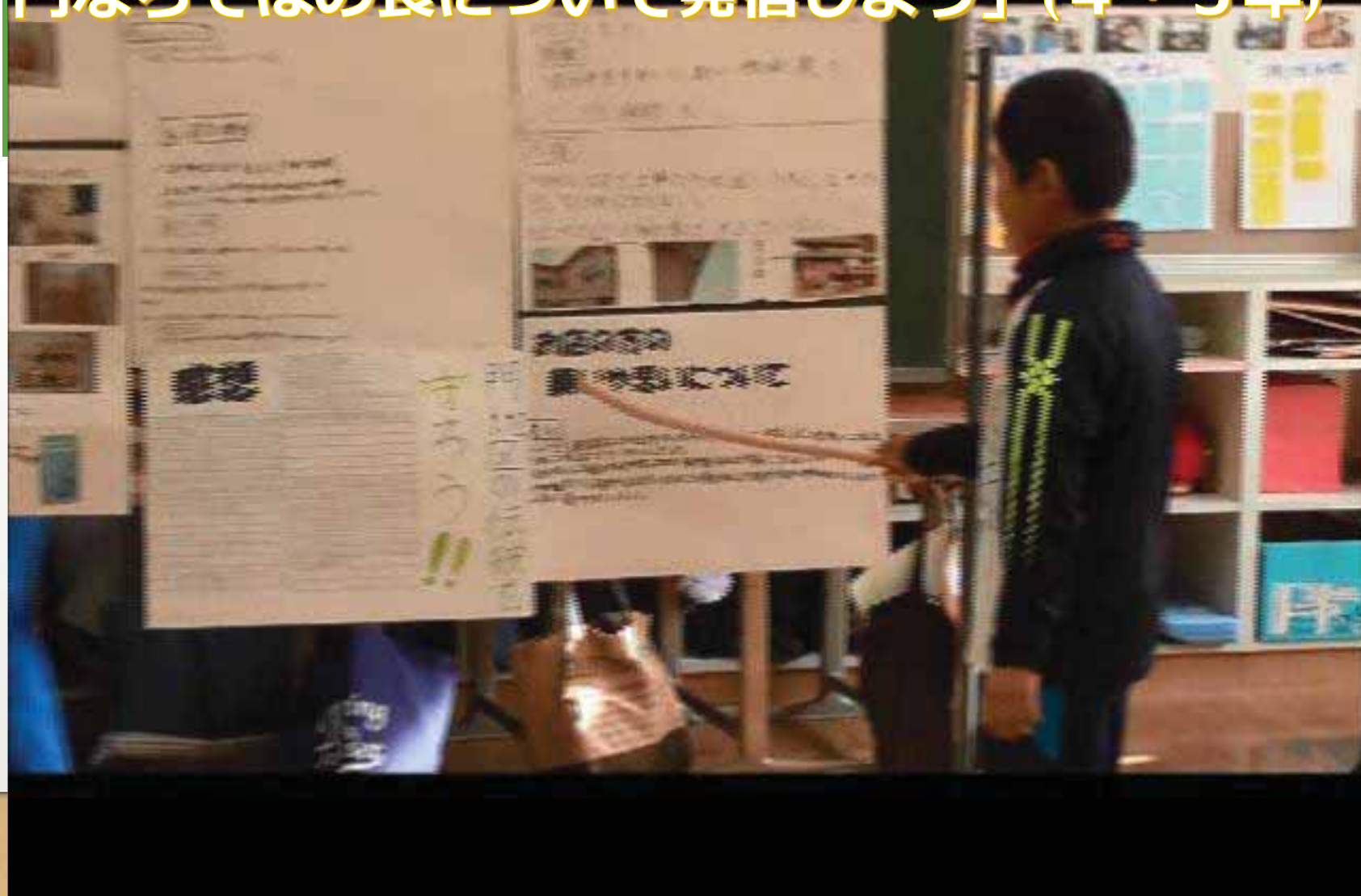
門地区に昔から伝わる「食」に関わる産業を調べることを通して、台風10号からの復興の様子やそれに関わる人たちの努力や思いに気付き、門地区の産業に誇りをもつことができる。

○指導計画(20時間)

つかむ・見通す	・門地区の「食」に関わる産業について知り、台風からの復興の様子に課題意識をもつ。 ・調べ学習をする方法を考える。
やってみる	・門地区のお店の復興などを知るための調べ活動を行う。 (実地調査、聞き取り調査、インターネットなど)
まとめる	・調べたことをまとめ、発表の準備を行う。
ひろげる	・発表会を開き、それぞれのお店の状況や働く人の願いについて知る。
ふりかえる	・活動を振り返り、これからの自分について考える。

授業研究会②

「門ならではの食について発信しよう」(4・5年)



「門の笑顔を広げよう

～門ならではの「食」について発信しよう～

- 成果と課題

- ○「食」という子どもたちの興味関心が高い産業を扱うことで、意欲的に活動する姿が見られた。
- ○あらかじめお店の方と打ち合わせを行うことで、子どもたちの学びに一貫性を持たせることができた。
- ○自分たちの住む地域の産業に改めて誇りを感じ、愛着を深めることができた。
- △事前準備のためお店の方と打ち合わせをする時間の確保。
- △発信方法や相手を充実させるための工夫。

いきる・かかわる・そなえる活用の授業公開 「ありがとう名人をめざそう」(3年)



- 資料名「ありがとうおまわりさん」
- 課題「ありがとう名人をめざそう」
- 目標～感謝の思いを行動で・言動で表現することの大切さを理解し、普段お世話になっている身近な人に進んで感謝の思いを伝えることができる。
- 学習内容～資料で「ありがとう」の大切さを学び、身近な人に感謝の思いを届ける方法を考える。

心のサポートの授業公開 「防災学習と心のサポート」(4年・5年)



- スクールカウンセラーによるストレス対応についての授業を保護者に公開
- 学習内容～災害後のトラウマ反応の対処の仕方・リラクゼーション

仮設の方との交流(1・2年)



仮設住宅訪問 お手玉交流

仮設の方を招待し、お手玉対決・ゲーム交流

仮設住宅訪問 手作りリース贈呈

学習発表会「公開ディベート(6年)」



岩泉乳業・岩泉役場に行き、今後の復興計画を取材



岩泉の復興のために、「まず復旧すべきか 水害対策が先か」のディベートを公開

成果・課題

〈成果〉



- ・思いやり・感謝につながる活動を意図的に行うことを通して、身近な人への思いやり・感謝の大切さに気付かせ、進んで思いを伝えることができた。
- ・地域を調べたり、地域の方と接したりする活動を通して、門地区のために役に立ちたいという意欲や自己肯定感の向上につなげることができた。

〈課題〉

- ・計画・実践等の業務が多忙につながっている。総合的な学習の時間の時数には限りがある。教科と関連づけ、計画的に実践を進めていきたい。
- ・日常の災害への心構えや危機感・備えが十分とはいえない。危機感を共有し、「備える」ための取り組みに力を入れていきたい。

【学校版タイムライン】作成参考資料 ～台風(大雨)を想定して～

2017.12.11版

タイムライン	気象庁・自治体地方気象台・岩手河川国道事務所	岩手県・県教育委員会・岩泉町・町教育委員会	学校の対応	家庭・地域
-120hr	○台風情報、警報級の可能性(市町村ごとに発表)		○テレビ・インターネット等による気象情報の確認	○テレビ・インターネット等による気象情報の確認
-72hr	○台風に関する岩手県気象情報			○避難場所、避難ルート、連絡方法、非常用品確認
-48hr	○台風に関する記者会見(気象庁)			
-24hr	○台風に関する説明会(岩岡地方気象台、HPにて公開)		○保護者への文書配布 ●対応の共通し(休校の判断等) ●注意喚起(川に近づかない等) ●避難時の必要事項(避難場所・避難ルート、連絡方法、非常用品等) ●自宅周辺が危険な場合自主的に判断することの確認 等	
-12hr	○大雨・洪水注意報発表	○岩手県警戒本部設置(県)	○校内における災害対応の方針確認(校長・副校長) ○近隣学校との対応の確認(こども園・小川中・小川小)	○自宅近辺で浸水等のおそれがある場合、家庭の自主判断による安全確保(自宅もしくは避難所)
教時突～2hr	○大雨・洪水警報発表	○岩手県災害特別警戒本部設置(県)	休校措置の判断基準 気象情報(岩岡地方気象台)で、警報級の警戒が発出されたり、1時間雨量で50mm、総雨量で200mmを超えると予想された場合。 ■休校措置をとる場合 前日から当日午前9時までの間に一斉メールで保護者に連絡する。 ■登校後に保護者に引き出す場合 ●近隣学校と協議→一斉メールで保護者に迎えを依頼し引き出す。(近隣学校と時間をそろえる) ※地震、土砂災害等の危険が迫っている場合は保護者に引き渡さない場合もある。	○学校からのメール確認 ○子どもへの声かけ(外出を控える 川に近づかない)
		○避難準備 高齢者等避難開始発令(町)		○学校にお迎え ※地震、土砂災害等の危険が迫っている場合は迎えに行かない
	○土砂災害警戒情報発表 ○記録的短時間大雨情報	○避難勧告発令(町)	○教育委員会へ災害対応を報告 ○関係者に災害対応を連絡 (PTA会長 学校運営協議会会長 小川駐在所 小川支所 スクールバス まもろう隊)	■地域との連携 ●小川支所 ●自主防災組織 ●消防団 ●小川駐在所 ●まもろう隊
	◇避難判断水位	○避難指示発令(町)	○小川支所と避難所運営体制の確認 ○自宅が近い教職員に退庁を指示 ※地震の危険が迫っている場合は学校に留まる指示をする場合もある。 ○避難所開設の判断(学校・支所・町教育委員会) ○避難所の開設 ●支所との協力体制の確立 ●必要物品準備 ●無断等解放区域の明示 ●受付、避難支援等 等	○休校措置後、下校後、家庭において安全確保(避難) ○家庭の安否の状況の確認
0hr	○大雨特別警報 ◇氾濫危険水位 氾濫発生	大規模災害の発生	○テレビ・インターネット等による気象情報の確認 ○消防屯所・支所からの情報収集 ○災害対応・被害の実態等を時系列で記録 ○学校内外の被害確認 ○地域・近隣の学校との情報共有(学区内の状況) ○教育委員会に被害報告	○NTT災害伝言ダイヤル(171)への伝言依頼
+12hr	○情報の継続/解除		■児童の安否確認・登校、休校等は、以下のいずれかの方法で連絡する。 1. 停電ではない場合 ●学校から一斉メールで連絡 一保護者はメール確認、安否・避難場所を返信 2. 停電で電話がつかない場合 ●校門、各公民館等へ連絡事項の掲示(名簿の準備)→保護者は確認し、安否状況を名簿に記録 ●職員の出発時刻による1軒1軒への連絡 ●上記による連絡が取れない場合、NTT災害伝言ダイヤル(171)にて伝言を依頼	
+72hr			○教育委員会に安否確認・登校・休業等の報告	

門小学校の夢



森と水のシンフォニー岩泉
岩泉町は豊かな自然と清らかな水に恵まれた美しい町です

- 6年生の感想から
- 復興教育 = キャリア教育
- 2月27日 自衛隊の方からの講話
- ある自衛官の言葉
- 岩泉の未来のために尽くしたい



笑う門には福来る

ありがとうございました！

葛巻・吉ヶ沢小学校との交流会で